

学習指導案

		○	
小学校低	小学校中	小学校高	中学校

学習領域	主な内容
地球的課題	環境

- 1 指導者 田川満男
- 2 単元名 世界遺産 白神山地からの提言（5年生国語）
- 3 目標 ガラパゴス諸島での自然と観光が共存していくための取り組みを知る。
- 4 学習過程

主な学習活動	指導上の留意点
1, 世界遺産白神山地での自然と観光が共存していくための取り組みを振り返る。	・白神山地が環境を保護するための「核心地域」と「緩衝地域」に分けられている理由について確認する。
2, ガラパゴス諸島の写真を見ながら情報を発表し合う。	・ガラパゴス諸島のことについて知っていることについて発表し合う。
3, ガラパゴス諸島が観光地している理由を考える。	・貴重な動植物や美しい自然の景観を観光資源に、人ともものが増えている島の現実を観光客の立場などから考える。
4, ガラパゴス諸島が観光地化によって引き起こされていることについて知る。	・DVDを見て人口、観光客の増加によるゴミ問題や生態系の変化（固有種の減少、外来種の増加）について知る。
5, 自然遺産が観光地化する是非について、意見を交わす。	・自分の考えをしっかりと持たせると共に、友達の見解を聞き、いろいろな考えがあり、どれが一番良い方法か、すぐに結論をだすのが難しいことを知る。
6, 身のまわりに、観光化が進みすぎて失われている自然はないかを考える。	・身近な世界遺産知床についてもふれる。 ・近くの観光地をあげ、考えさせる。

- 4 評価 ガラパゴス諸島での自然と観光が共存していくための取り組みが理解できたか。